

● 移住交流支援センターだより ●



NPO法人
グリーンパレー
の伊藤が
お届けします。
お問合せ
☎676-1177

8・9月の活動報告

テレビ、インターネット、雑誌などで神山の話題が取り上げられることが多くなるなか、連休中は移住の相談に訪れる方が県内外からたくさんいらっしゃいました。

そして8月は空き家の掃除を行いました。移住交流支援センターでは、移住希望者が見つかった空き家の掃除のサポートを行っていただきます。空き家持ち主の方に必要なものを引き取っていただいたのち、センター職員と移住希望者で不用品を分別し、環境センターに収集を依頼します。空き家を貸

新規移住希望者の 相談件数

8月・・・4件
9月・・・12件



してみたいけど掃除が大変で困っているという方がいらつしやいましたら、お気軽にご相談ください。

* * *

今月のインタビュー

● 五味綾子

愛知県出身・神領北在住



寄井商店街の元理容室を改装し、今年の8月8日にオープンした物菜屋「535（ごみさんく）」神山塾6期生として移住し、今は535店長として神山で暮らし、神山で働く、五味綾子さんにお話を伺いました。

〈移住のきっかけ〉

子どもの頃から料理人に憧れて

いて、自分の店を持つのが夢でした。しかし地元の料理店で働いていた時に、もう2度と料理はしな

いと思つたほど、大きな挫折を経験しました。別の道を探ろうとしてたまたま参加したのが、昨年2月の神山塾でした。

〈神山で料理を再開〉

友だちに料理を作ったり、町内のお店でモーニングを出したりするなかで、私の料理をもっといろんな人に食べてもらいたいと思うようになりまし。また神山は何かをやり始めたときに協力してくれる方が多く、そうした支えもあってこのお店を始めることができました。今は以前よりもちゃんと料理に向き合えている気がします。



〈535について〉

物菜屋にしたのは自分の出来る範囲で、自分のペースでやりたいと思つたからです。栄養や味のバ

ランスに気を配りながら日替わりでメニューを考え、神山は料理上手な方が多いのでひと手間かけたおかず作りを心がけています。それと家庭で出るゴミを減らすことができるよう、おかずを入れるタッパーの持参をできるだけお願いしています。

〈休みの日の過ごし方〉

休みの日はメニューを練ったり、買い出しや仕込みをしたりしています。仕事とプライベートの境界がなくなってきましたが、休みが少なくても今は不思議と平気です。

〈最後にひとこと〉

場所が分かりにくいかもしれませんが、隠れた物菜屋として町内の方が気軽に立ち寄れるお店になつたらなと思います。



535（ごみさんく）

寄井商店街、消防団詰所となり

営業時間 11:30-18:00（売り切れ次第終了）

定休日：月・金 IP：4959